

演 題 名	民医連新聞記事紹介の取り組み、気が付けばはや3年！		パソコンスライド・〇ポスター	
院所・事業所名	松山ハロー薬局	部 署		
発 表 者	高下 博行	職 種	事務	
共同研究者	松山ハロー薬局 職員一同			

#### <はじめに>

松山ハロー薬局では開局時から民医連新聞記事紹介の取り組みを続け、気が付けば3年になりました。民医連新聞は全職員に無料で月2回配布されていますが、活用の仕方としてどうなのか、今回職員アンケートを実施し分析検討を行ないましたので報告します。

#### <取り組み>

06年1月～12月の記事紹介の集計。

全職員アンケートを実施し集計分析。対象職員14名：薬剤師8名＝常勤5名非常勤3名、事務6名＝常勤2名派遣事務4名。

#### <当事業所での民医連新聞記事紹介の取り組み>

- ① 2人1組でそれぞれが関心のある・紹介したい記事を朝礼時に読み、感想等を必ず付け加えます。他職員からは気軽に質問がだされています。たまに宿題にもなります。読む時には、職員は新聞を持ち寄ります。
- ② 2人が終われば次の組を指定します。次号が来るまでに終わっていなかったり、次の組を指定しわすれたりすると次号も担当します。これまでに、1度だけ連続担当した組がありました。
- ③ 毎月4つの記事、年間で48の記事紹介がされます。

#### <アンケート項目>

- 1、民医連新聞はどの程度読まれていますか。
- 2、よく読む記事はどこですか。
- 3、ほとんど読まない理由は。
- 4、投稿されたことはありますか。
- 5、新聞記事紹介の取り組みはいかがですか。
- 6、月にどの程度記事紹介を聞けていますか。
- 7、もし、他事業所にすすめるとすれば、一押し二押しの理由は。
- 8、3年続いている理由は。
- 9、改善すべきことや要望・期待は。

#### <分析検討について>

アンケート集計の中で、“ペナルティ、気軽さ、気付き”というキーワードが浮かんできます。石の上にも3年、とにかく3年継続してきました。職員10数人の考え方の多様性や急激な時代の流れの中で、新聞記事紹介の取り組みを力にしていけるように、分析検討結果を今後に活かしていきたいと思えます。

